

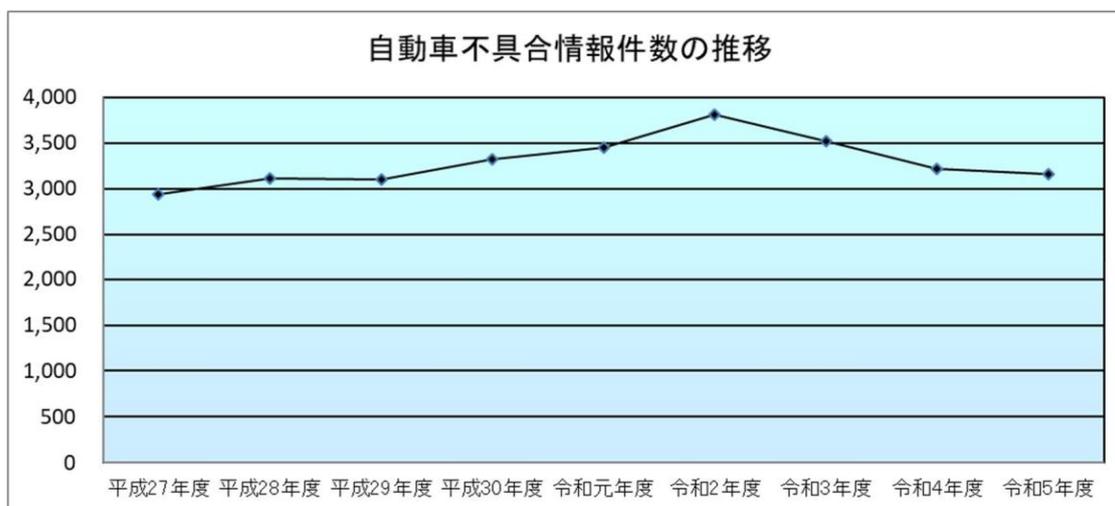
## 令和5年度の自動車不具合情報の統計結果について

国土交通省の自動車不具合情報ホットライン (<https://renrakuda.mlit.go.jp/renrakuda/hotline.html>) に自動車ユーザー等から寄せられた自動車の不具合情報について、令和5年度の統計結果をとりまとめたので公表いたします。

なお、本自動車不具合情報は、設計又は製造に起因するものに限られておらず、整備不良やユーザーの誤使用等に起因する可能性があるものも含まれています。また、本統計はあくまでもユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容について事実関係を保証しているものではありません。

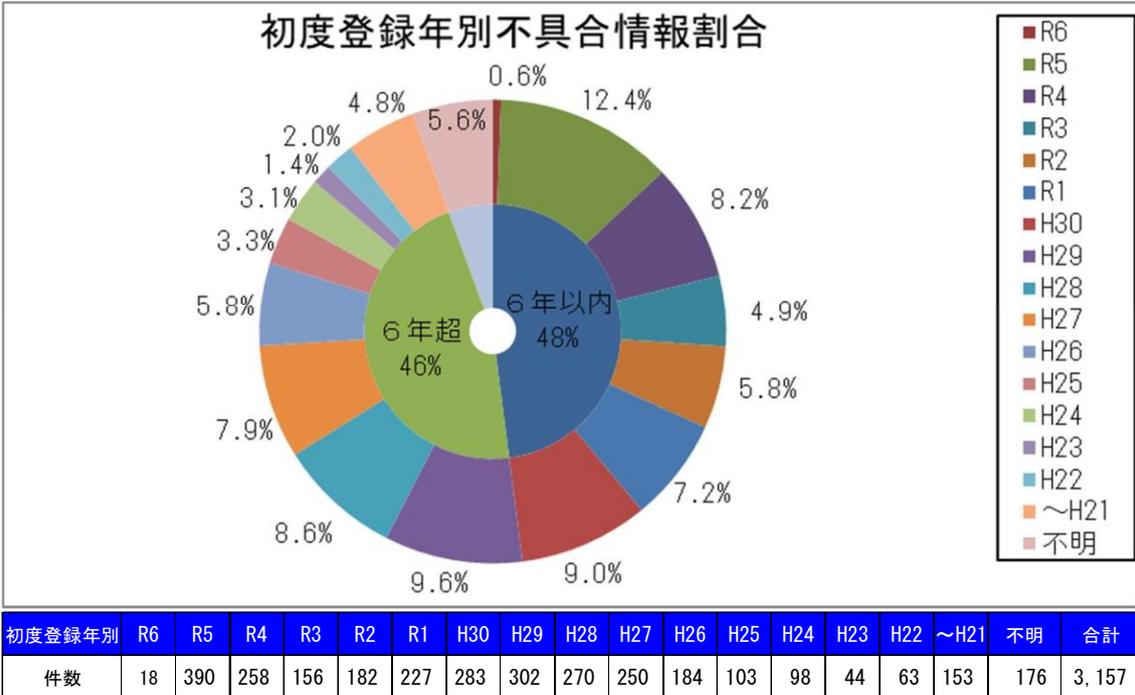
1. 令和5年度に国土交通省の自動車不具合情報ホットラインに寄せられた情報の件数は5,372件であり、そのうち有効な自動車不具合情報件数は3,157件であった。

件数の推移をみると平成26年以降令和2年度までは緩やかな増加傾向であったが、令和3年度以降は減少に転じている。

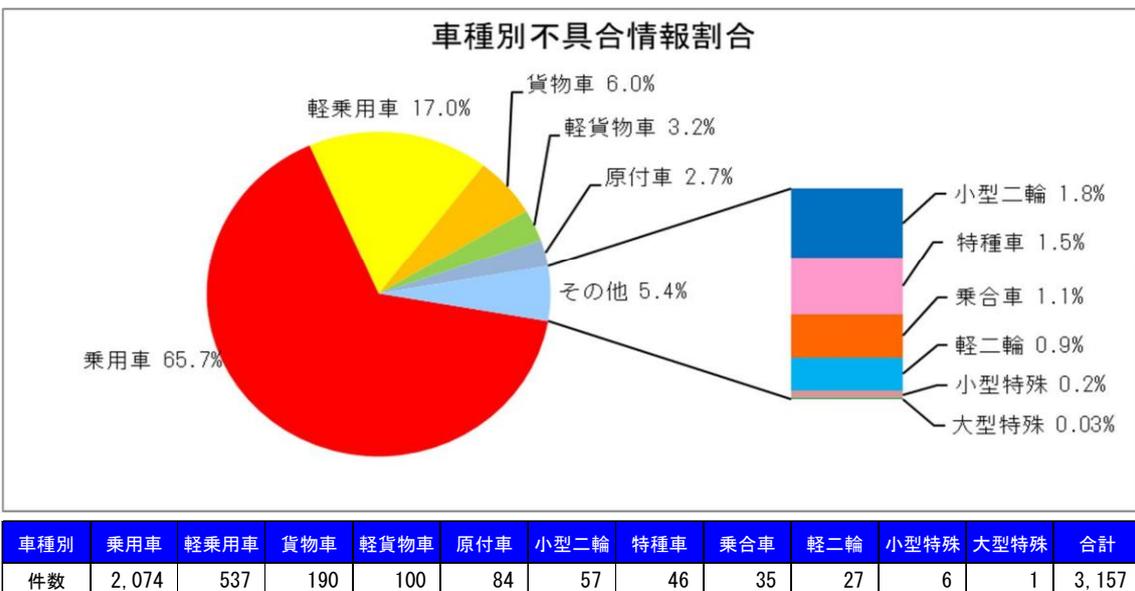


年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件数	2,943	3,110	3,105	3,317	3,452	3,811	3,522	3,221	3,157

2. 初度登録年別（軽自動車にあっては初度検査年。以下同じ。）の不具合情報件数は、初度登録年が令和5年の自動車が390件(12.4%)と最も多く、次いで平成29年の自動車が302件(9.6%)となっている。初度登録後6年以内の自動車に関わる不具合情報件数と6年超経過した自動車（不明を除く。）に関わる不具合情報件数を比較すると、大きな差はなく、6年超の件数が若干多くなっている。

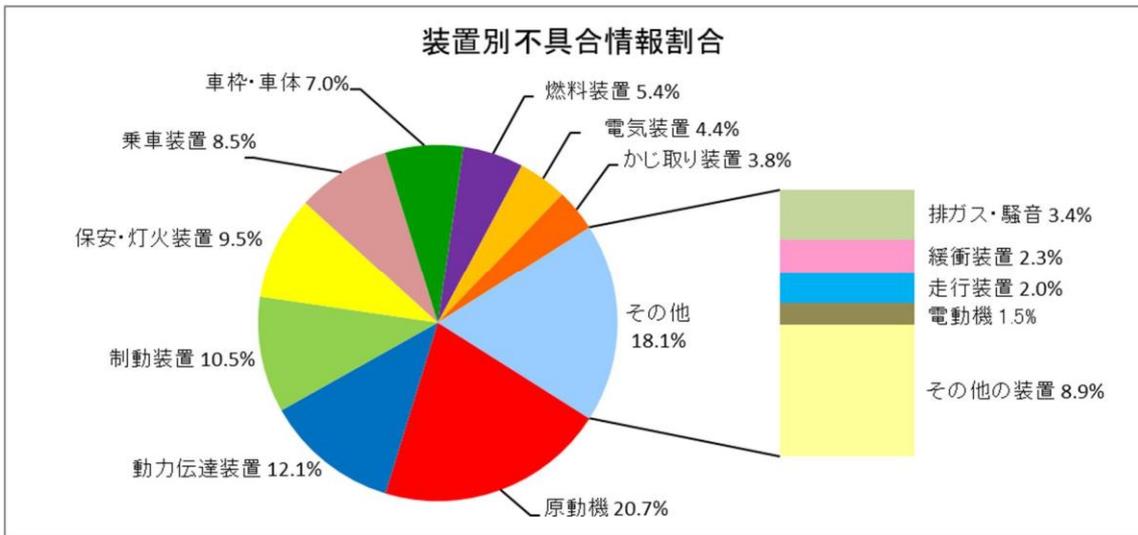


3. 車種（用途）別の不具合情報件数は、「乗用車」が2,074件(65.7%)と最も多く、次いで「軽乗用車」が537件(17.0%)、貨物車が190件(6.0%)の順となっている。



4. 装置別の不具合情報件数は、「原動機」が653件で全体の20.7%と最も多く、次いで「動力伝達装置」が382件(12.1%)、「制動装置」が332件(10.5%)の順となっている。

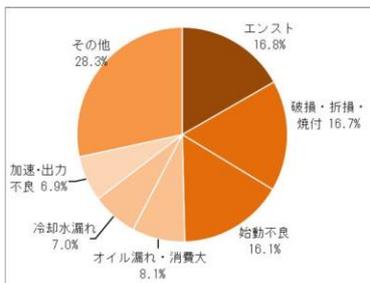
これら不具合情報件数の多い装置分類の上位3種について不具合事象をみると、件数上位に、原動機では「エンスト」「破損・折損・焼付」、動力伝達装置では「走行不能」「変速不良」、制動装置では「制動力不足」「作動不良」といった走行安全性に関わる重大な事象が占めており、件数の中位には「オイル消費大」「変速ショック」や「異音・鳴き」といった快適性・商品性に関わる事象が挙がっている傾向がみられる。



装置別	原動機	動力伝達装置	制動装置	保安・灯火装置	乗車装置	車枠・車体	燃料装置	電気装置	かじ取り装置	排ガス・騒音	緩衝装置	走行装置	電動機	その他の装置	合計
件数	653	382	332	299	267	222	172	139	121	106	74	64	46	280	3,157

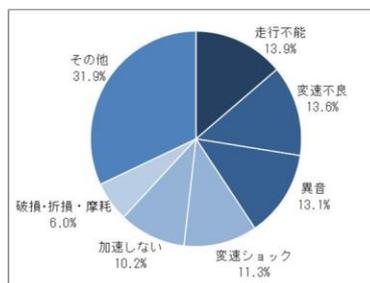
不具合の多い装置分類 上位3種

1. 原動機



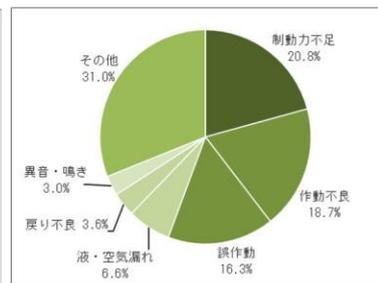
順位	不具合事象	件数
1	エンスト	110
2	破損・折損・焼付	109
3	始動不良	105
4	オイル漏れ・消費大	53
5	冷却水漏れ	46
6	加速・出力不良	45
	その他	185
	合計	653

2. 動力伝達装置



順位	不具合事象	件数
1	走行不能	53
2	変速不良	52
3	異音	50
4	変速ショック	43
5	加速しない	39
6	破損・折損・摩耗	23
	その他	122
	合計	382

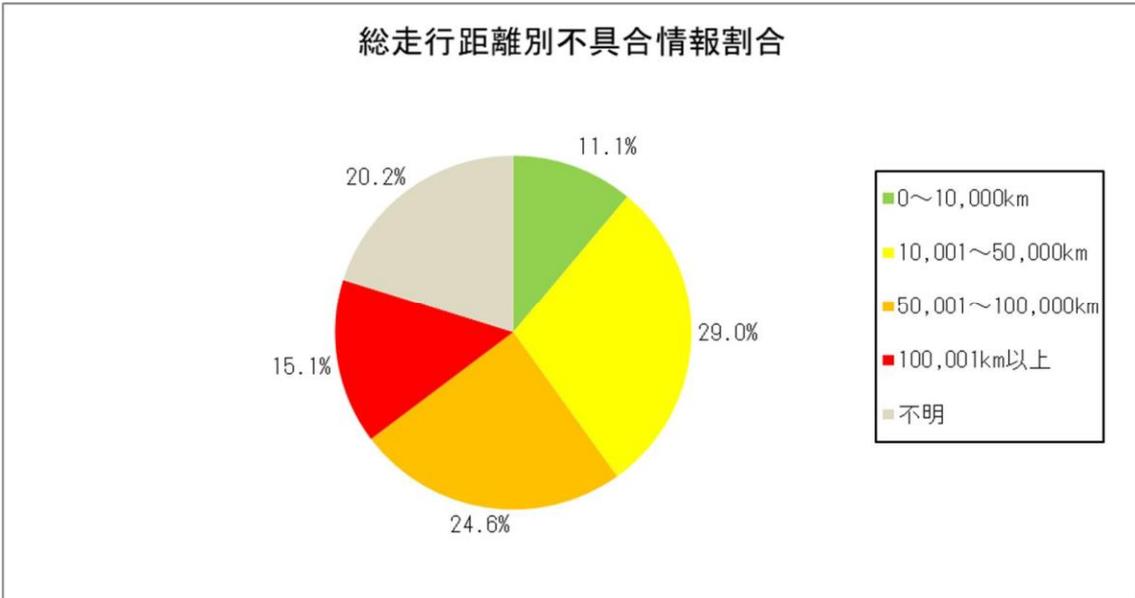
3. 制動装置



順位	不具合事象	件数
1	制動力不足	69
2	作動不良	62
3	誤作動	54
4	液・空気漏れ	22
5	戻り不良	12
6	異音・鳴き	10
	その他	103
	合計	332

5. 総走行距離別の不具合情報件数は、「1万km超5万km以下」が917件(29.0%)と最も多く、次いで「5万km超10万km以下」が777件(24.6%)、「10万km超」が477件(15.1%)、「1万km以下」が349件(11.1%)の順となっている。

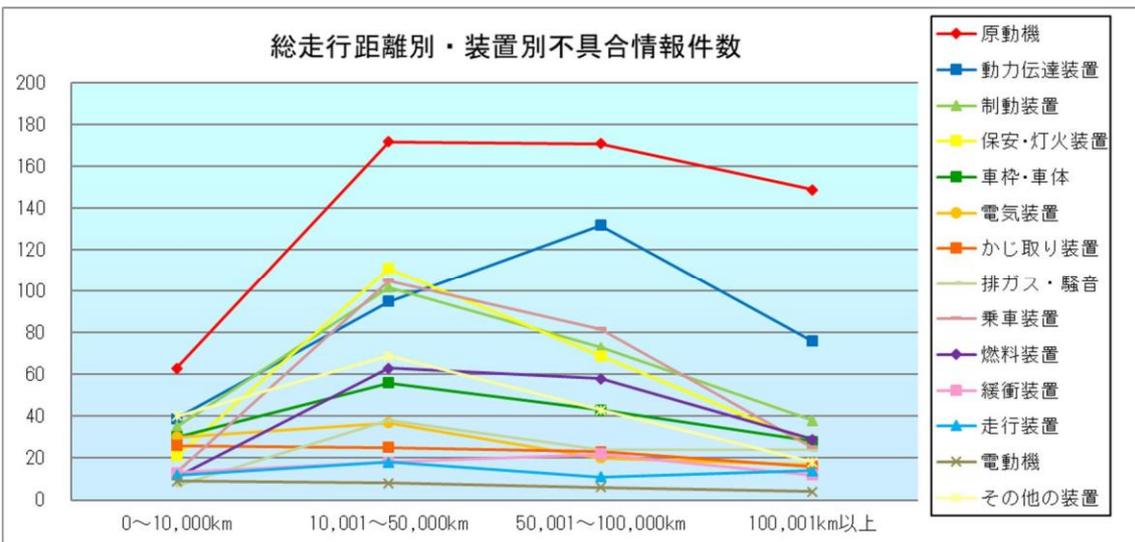
5万km以下と5万km超の不具合情報件数とを比較すると、前者の不具合情報が多く寄せられている。

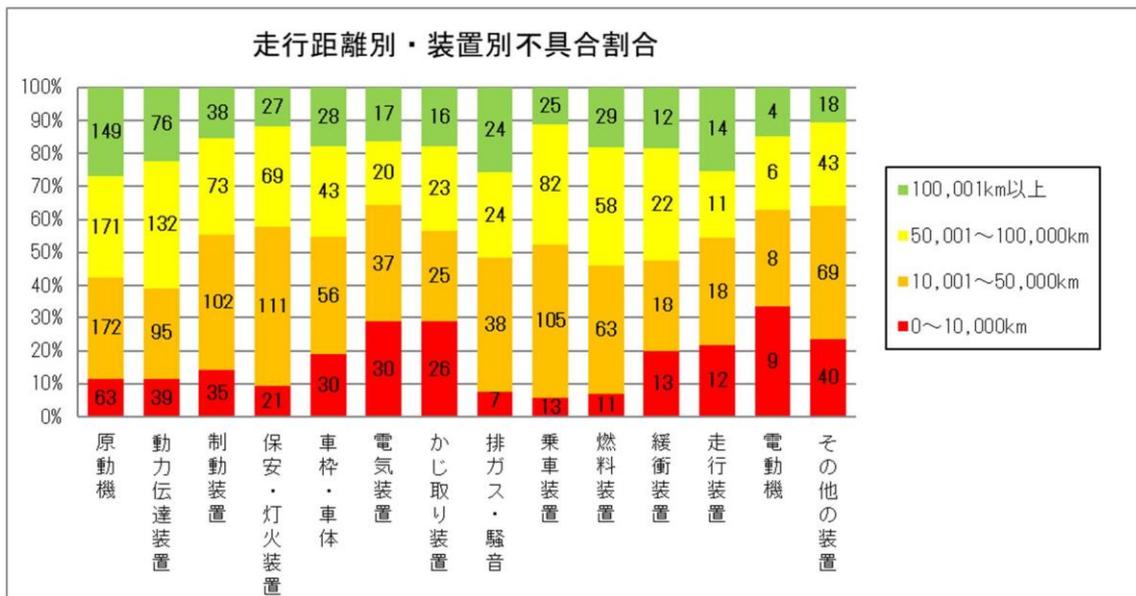


総走行距離別	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
件数	349	917	777	477	637	3,157

6. 総走行距離別・装置別の不具合情報件数をみると、装置別不具合件数上位3種について、「原動機」および「制動装置」は1万km超5万km以下の不具合情報件数が最も多く、「動力伝達装置」は5万km超10万km以下の不具合情報件数が最も多くなっている。

また、不具合情報割合をみると、「電動機」「電気装置」は5万km以下の比較的総走行距離が少ない早期に不具合情報が挙げられる傾向がある。

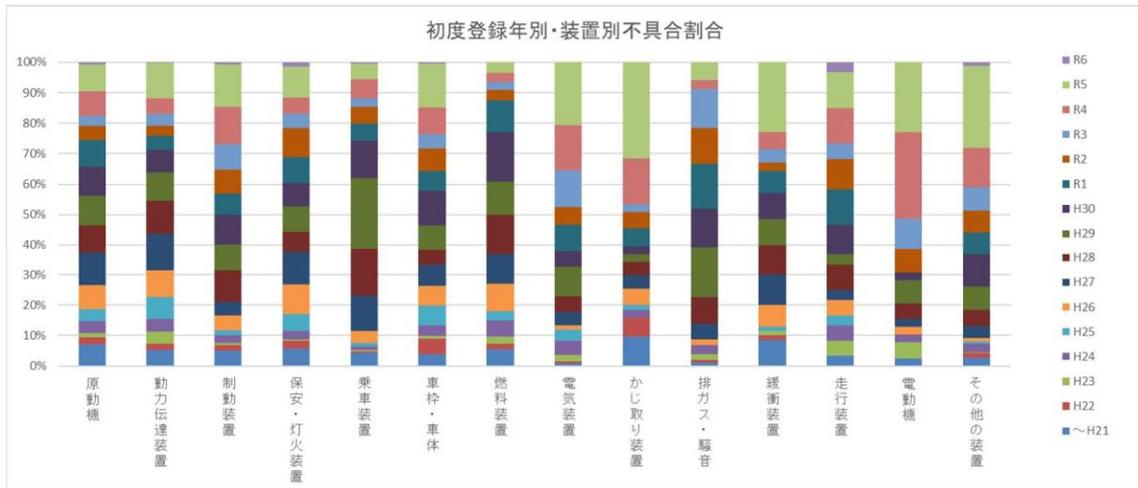
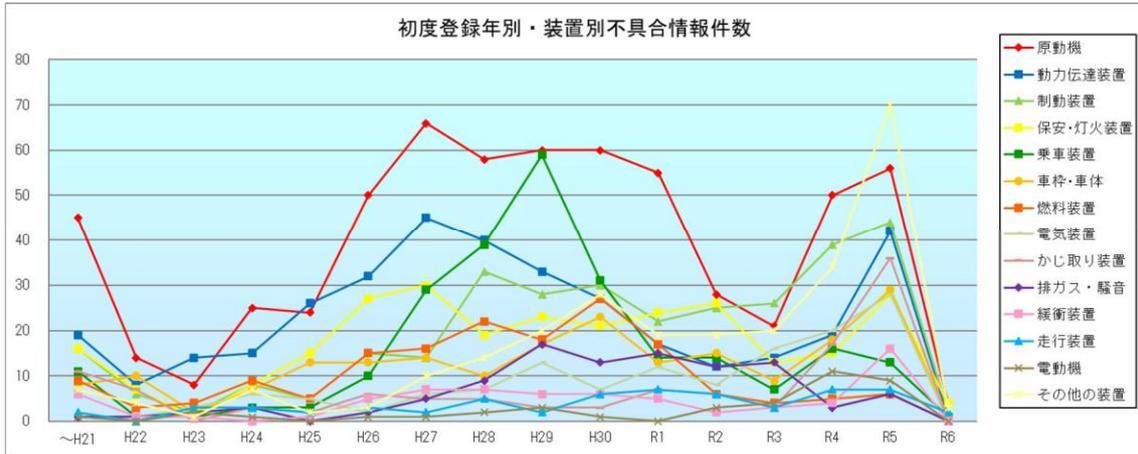




(件)

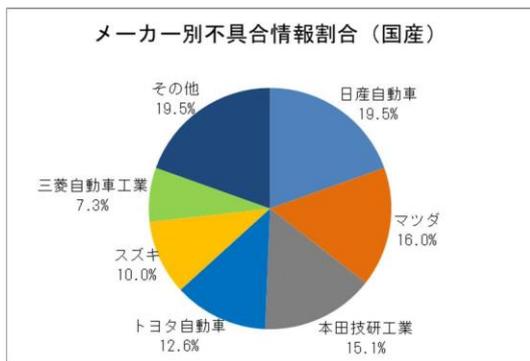
総走行距離別 装置別	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
原動機	63	172	171	149	98	653
動力伝達装置	39	95	132	76	40	382
制動装置	35	102	73	38	84	332
保安・灯火装置	21	111	69	27	71	299
車枠・車体	30	56	43	28	65	222
電気装置	30	37	20	17	35	139
かじ取り装置	26	25	23	16	31	121
排ガス・騒音	7	38	24	24	13	106
乗車装置	13	105	82	25	42	267
燃料装置	11	63	58	29	11	172
緩衝装置	13	18	22	12	9	74
走行装置	12	18	11	14	9	64
電動機	9	8	6	4	19	46
その他の装置	40	69	43	18	110	280
合計	349	917	777	477	637	3,157

7. 初度登録年別・装置別の不具合情報件数をみると、全体として初度登録R5年の件数が多く、登録後1年程度の車両での不具合情報が多くなっている。

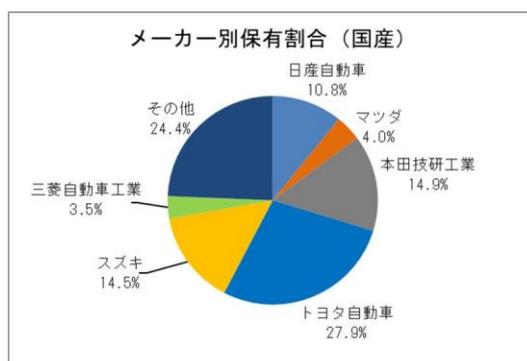


装置別	初度登録年別																不明	総計
	～H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6		
原動機	45	14	8	25	24	50	66	58	60	60	55	28	21	50	56	4	29	653
動力伝達装置	19	8	14	15	26	32	45	40	33	27	17	12	14	19	42	1	18	382
制動装置	16	6	2	8	5	15	14	33	28	30	22	25	26	39	44	2	17	332
保安・灯火装置	16	7	1	8	15	27	30	19	23	21	24	26	13	15	28	4	22	299
乗車装置	11	1	1	3	3	10	29	39	59	31	14	14	7	16	13	1	15	267
車枠・車体	8	10	2	7	13	13	14	10	17	23	13	15	9	18	29	1	20	222
燃料装置	9	3	4	9	5	15	16	22	18	27	17	6	4	5	6	0	6	172
電気装置	1	1	3	6	5	2	6	7	13	7	12	8	16	20	28	0	4	139
かじ取り装置	11	7	0	3	2	6	5	5	3	3	7	6	3	17	36	0	7	121
排ガス・騒音	1	1	2	3	0	2	5	9	17	13	15	12	13	3	6	0	4	106
緩衝装置	6	1	1	0	1	5	7	7	6	6	5	2	3	4	16	0	4	74
走行装置	2	0	3	3	2	3	2	5	2	6	7	6	3	7	7	2	4	64
電動機	1	0	2	1	0	1	1	2	3	1	0	3	4	11	9	0	7	46
その他の装置	7	4	1	7	2	3	10	14	20	28	19	19	20	34	70	3	19	280
合計	153	63	44	98	103	184	250	270	302	283	227	182	156	258	390	18	176	3,157

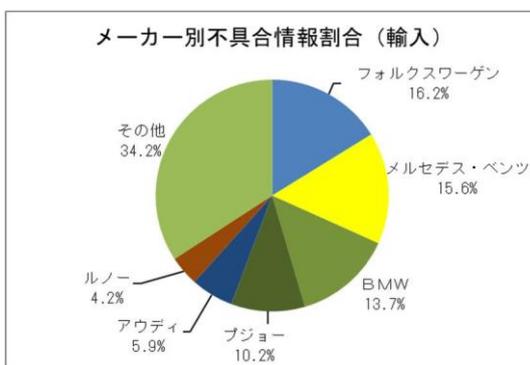
8. メーカー別の不具合情報件数をみると、国産車メーカーでは日産自動車が481件(19.5%)と最も多く、次いでマツダが395件(16.0%)、本田技研工業が372件(15.1%)の順となっている。また、輸入車メーカーではフォルクスワーゲンが112件(16.2%)と最も多く、次いでメルセデス・ベンツが108件(15.6%)、BMWが95件(13.7%)の順となっている。



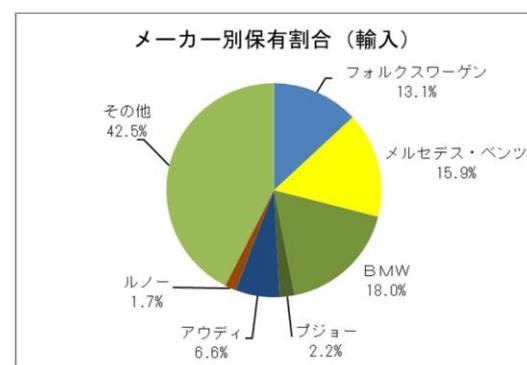
順位	メーカー名	件数
1	日産自動車	481
2	マツダ	395
3	本田技研工業	372
4	トヨタ自動車	310
5	スズキ	246
6	三菱自動車工業	179
	その他	481
	合計	2,464



順位	メーカー名	台数 (千)
4	日産自動車	8,400
5	マツダ	3,094
2	本田技研工業	11,583
1	トヨタ自動車	21,639
3	スズキ	11,277
6	三菱自動車工業	2,687
	その他	18,890
	合計	77,571



順位	メーカー名	件数
1	フォルクスワーゲン	112
2	メルセデス・ベンツ	108
3	BMW	95
4	プジョー	71
5	アウディ	41
6	ルノー	29
	その他	237
	合計	693



順位	メーカー名	台数 (千)
3	フォルクスワーゲン	637
2	メルセデス・ベンツ	778
1	BMW	876
5	プジョー	107
4	アウディ	324
6	ルノー	82
	その他	2,074
	合計	4,879

注：メーカー別保有台数は、令和5年3月末現在における(一財)自動車検査登録情報協会及び(一社)全国軽自動車協会連合会の集計数字(小型特殊自動車及び原動機付自転車を除く。)より算出した。

※ メーカー別保有割合の順位は、不具合件数上位6社において順位付けしたもの。全社での保有台数上位6社を示したものではない。

(付録) 令和5年度ユーザー不具合情報における衝突被害軽減ブレーキおよびペダル踏み間違い急発進抑止装置に関する統計結果について

令和5年度にユーザーから国土交通省に寄せられた自動車の不具合情報のうち、衝突被害軽減ブレーキ及びペダル踏み間違い急発進抑止装置に関する不具合情報と思われるものを統計的にとりまとめたので、その結果を報告いたします。

なお、この統計結果はユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容について事実関係を保証しているものではありません。

1. 衝突被害軽減ブレーキ

令和5年度に衝突被害軽減ブレーキに関する不具合情報は113件あった。

(1) 車種別件数

(件)

車種 \ 事象	不作為	不要作動	その他	合計
乗用車	50	42	0	92
軽乗用車	8	9	0	17
貨物車	0	1	0	0
軽貨物車	1	0	0	1
特種車	1	1	0	2
合計	60	53	0	113

(2) 被害別件数

(件)

被害 \ 事象	不作為	不要作動	その他	合計
物損事故	15	1	0	16
人身事故	7	1	0	8
事故なし又は不明	38	51	0	89
合計	60	53	0	113

(3) 物損事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	13	0	0	13
軽乗用車	2	1	0	3
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	0	0	0	0
合計	15	1	0	16

(4) 人身事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	6	0	0	6
軽乗用車	1	1	0	2
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	0	0	0	0
合計	7	1	0	8

## 2. ペダル踏み間違い急発進抑止装置

令和5年度にペダル踏み間違い急発進抑止装置に関する不具合情報は15件あった。

(1) 車種別件数

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	12	1	0	13
軽乗用車	2	0	0	2
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	0	0	0	0
合計	14	1	0	15

(2) 被害別件数

(件)

被害 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
物損事故	11	0	0	11
人身事故	1	0	0	1
事故なし又は不明	2	1	0	3
合計	14	1	0	15

(3) 物損事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	9	0	0	9
軽乗用車	2	0	0	2
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	0	0	0	0
合計	11	0	0	11

(4) 人身事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	1	0	0	1
軽乗用車	0	0	0	0
貨物車	0	0	0	0
乗合車	0	0	0	0
合計	1	0	0	1